

理解し合える印刷

「大丈夫。どうしたの。」

僕は聞く。僕が小学生の頃、学校の校外学習で老人ホームへ行き色々な体験をした。僕達のがかや老何グループがにわかれて出し物をしたり老人の方たちと一緒に遊んだ。その時に、老人や体の不自由な方は自分達のようには過ごせない場合がある。普段僕は学校や家など、どこでも話す事ができ音か聞こえる。目も見えろ。手や足も自由自在に動かす事が

できない。このような事は普通な事だと思っ
ていたが、実は幸せな事だ。た。老人や体の不
自由な方の方がには耳が聞こえにくが、たり、
話せない人もいる。

生きている中不人との関わりが一番大切だ
と僕は思う。人との関わり、コミュニケーシ
ンは話すことから始まり、理解し合えると思
う。人と話すことはとても楽しい。

僕は誰とでも話せ、理解できるものが欲しい。
話す事ができない人が考えている事を印

金内大輝

刷できない機械が欲しい。これがあれば、どん

な人で老相手の思っている事がわかり、今ま
では違う見方で話す事ができる。今は相手
の人が話せない相手の人は何を考えている
んだらう。何をしたいのか。と考えて
行動をする。どのように考える事も大切だと思
うが大変だと思う。逆に相手の人を話せない
としつらいな。伝えたくても伝えられなくて
もじかしい。と考えていると思う。しかし、
考えている事が印刷できないと話せない人は気

持たが伝えられる。耳が聞こえない人は相手
の思っている事が印刷できればそれを読んで
理解をすることができる。

現在はバリアフリー化が進んでいるため、
車いすの人が段差を登れるスロープや手す
りが増えた。目の不自由な人がわかる黄色い丸
の板や点字などもある。このような機能は身
体の不自由な方たちが快適に過ごせる助けに
なるがコミュニケーションをとる助けにな
るものが少ないと僕は思う。確かに昔に比べ

金内大輝

て安心に過ごせるようにな、てきたと思う。
しがし、これらは心を理解し合えるものでは
ないと思う。

バリアフリーの設備を考えた人は体の不自
由な方と思い、相手の目線に立、て考えて造
られたと思う。しがしこれらの設備や物を使
て老直接的にユミ^ユニケ^イシ^シン^ンはとれてい
ない。思いやることは大切だがお互いに理解
し合うことが出来たらこれだけ素晴らしいかと
僕は思う。相手の事を自分なりに考えていて

も、それでは気付かない事がたくさんある。
たとえば、どんなに小さいな事であ、てもそれ
が何倍にも積み重ねなる事としてとてもなまの
になる。

だから将来、老人や体の不自由な方達が考
えている事を印刷できる機械が開発されると
良いなと思う。それにフソモ、と一日一日が
充実すると思う。今年は震災もあ、たがこの
ような印刷ができると震災時にも役に立つだ
ろう。そんな印刷機ができると良いな。

金内 大輝